2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	公務員試験対策講座 1（Preparation course for civil service examination）					担当教員	山川　智子 （ヤマカワ　トモコ）		
科目区分	対策講座	必修・ 選択区分	選択	単位 数	0	配当年次	1～4 年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目 / 協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要
例年春から夏にかけて行われる各種の公務員試験対策における重点科目は、①文章理解、②政治経済、③判断推理、④数的推理である。文章理解は中学校や高校までの現代文・古文・英文も含む内容で、教養試験においてはもっとも出題数が多い。文章の趣旨を理解するだけでなく、論理性も要求される。文章の読解力を高めると共に論作文試験に必要な書き方のポイントも体得する。 判断推理・数的推理は、公務員試験独特の内容で合否の決め手となり得る。判断推理がクイズやパズルのような推理問題、数的推理が中学校から高等学校までの数学の知識を基盤としている。 政治経済は他の必修科目・選択科目でも習うはずだが、さらに強化を図りため、時事問題にも触れる。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
③ 授業の進め方・指示事項
公務員の筆記試験（一次試験）合格に必要な基礎知識を理解し、一般的な解法パターンを身に付ける。 基礎学力と得点力を身につけるために、重点科目の問題演習と小論文の錬成を行う。 最初に基本的な学習の目安を提示し、現時点での理解度によって、進捗や課題の内容を適宜調整する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
義務教育修了程度の知識、読解力及び作文能力、推理力は公務員試験突破に必須である。地方公務員（市役所・県警等）を本気で目指す者が主な対象だが、就職の筆記試験に備えたい者にも受講を勧める。但し、単位にはならないので注意する。採用試験を間近に控えた 4 年生や就活を控えた 3 年生が主な対象であるが、意欲の高い 1 年生や 2 年生の履修も歓迎する。
⑤ テキスト（教科書）
『公務員試験　速攻の時事令和 6 年度試験完全対応』（2024）実務教育出版 西川マキ『1 週間で解き方がわかる数的推理 いちばんやさしい公務員試験テキスト&問題集』（2022）インプレス 西川マキ『1 週間で解き方がわかる判断推理 いちばんやさしい公務員試験テキスト&問題集』（2022）インプレス
⑥ 参考図書・指定図書
『2025 年版大卒警察官教養試験過去問 350』実務教育出版 『2025 年版市役所上・中級教養専門試験過去問 500』実務教育出版 畑中敦子『畑中敦子の算数・数学の超キホン！』LEC 東京リーガルマインド

中村一樹『中村流市役所合格必勝過去問第３版』三修社 西成活裕『東大の先生！文系の私に超わかりやすく数学を教えてください！』かんき出版 西成活裕『東大の先生！文系の私に超わかりやすく高校の数学を教えてください』かんき出版
⑦　評価Ａに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i)　SPI や公務員試験過去問の文章要旨理解や並べ替え、用語の意味を平均 80%以上正答できる。 (ii) 一般的な時事問題や社会状況を踏まえて、時間内に小論文として明文化することができる。 (iii) 数的推理・判断推理の基礎的な解法を理解し、標準的な問題を平均 60%以上正答できる。

⑧　ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ｉ）文章理解	公務員過去問相当を 8 割以上正答できる。	公務員過去問相当を 7 割程度正答できる。	公務員過去問相当を 6 割程度正答できる。	公務員過去問相当を 5 割程度正答できる。	公務員過去問相当に殆ど歯が立たない。
（ⅱ）判断推理・数的推理	公務員過去問相当を 6 割以上正答できる。	公務員過去問相当を 5 割程度正答できる。	公務員過去問相当を 4 割程度正答できる。	公務員過去問相当を 3 割程度正答できる。	公務員過去問相当に殆ど歯が立たない。
（ⅲ）時事問題・小論文	社会状況を踏まえた極めて秀逸な小論文を規定時間内に完成させることができる。	社会状況を踏まえた秀逸な小論文を規定時間内に完成させることができる。	社会状況を踏まえた小論文を規定時間内に完成させられる。誤字脱字が殆どない。	社会状況を多少踏まえた小論文を規定時間内に完成させられるが、誤字脱字がある。	社会状況を踏まえておらず小論文を規定時間内に完成させられない。誤字脱字多い。

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%		30%		100%
（ｉ）数的推理	20%		10%		10%		40%
（ⅱ）判断推理	20%		10%		10%		40%
（ⅲ）新規・複合	10%				10%		20%
フィードバックの方法	解法を身につけるために、解答のみならず、原則として解説も配布する。授業以外でも、個別の指導も要請があれば行う。						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
義務教育修了程度の知識は公務員試験の過去問を解くのに不可欠である。基本に立ち返って定義を見直し、少しずつ解法パターンを繰り返すことで、次第に解き方が身についてゆく。ただ授業を聴くだけでは公務員試験を突破する実力はつかない。必ず自力で練習問題を解いて欲しい。効果的な学習方

法や、学年ごとに試験本番までのスケジューリングも紹介する。

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション～公務員試験の概要～	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
2	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題① 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
3	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題② 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
4	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題③ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
5	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題④ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
6	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑤ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
7	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑥ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
8	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑦ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
9	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑧ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
10	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑨ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
11	文章理解、数的推理、判断推理、時事問題⑩ 過去問を踏まえた解法パターンの把握	重点科目の錬成を行い、それぞれの理解度に合わせたと効果的な学習方法を工夫する。	120 分
12	時事問題や小論文過去問を踏まえた錬成① 数的推理・判断推理の発展問題①	小論文の過去問や頻出テーマに則した実地錬成を行う。数的推理・判断推理の応用問題に挑戦する。	120 分
13	時事問題や小論文過去問を踏まえた錬成② 数的推理・判断推理の発展問題②	小論文の過去問や頻出テーマに則した実地錬成を行う。数的推理・判断推理の応用問題に挑戦する。	120 分
14	時事問題や小論文過去問を踏まえた錬成③ 数的推理・判断推理の発展問題③	小論文の過去問や頻出テーマに則した実地錬成を行う。数的推理・判断推理の応用問題に挑戦する。	120 分

15	時事問題や小論文過去問を踏まえた錬成④ 数的推理・判断推理の発展問題④	小論文の過去問や頻出テーマに則した実地錬成を行う。数的推理・判断推理の応用問題に挑戦する。	120 分

⑫　アクティブラーニングについて
課題内容を各回の始めにその解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。試験に出る知識を講釈するだけではなく、試験に勝つための勉強方法も惜しみなく披露する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性